

教育活動その他の学校運営の状況に関する情報

大原法律公務員専門学校津校

1. 学校の概要、教育目標

| | |
|-------|---|
| 教育目標 | 早期大人化教育、学科の専門教育 社会人として通用する専門能力と常識を身に付け、自分の力で切り開いていくことができる人間として成長するとともに、社会人としての自覚や精神的な自立、資格試験や公務員試験の合格に必要な実務能力を備えることを目標とします。 |
| 特色等 | トライアングル教育 ・トライアングル教育とは、①学生個人の力、②クラス力、③教師力の三者のパワーを相互連携する教育システムであり、このトライアングルパワーを最大限に引き出すことで、希望の資格試験や公務員試験、就職内定の合格実現性を高めていきます。 ・独自の学生手帳（トライアングル手帳）を活用する等、学生生活を通して学生自身により自己管理能力、自己継続力が養われる教育を実践します。 |
| 校長名 | 鶴見達洋 |
| 所在地 | 三重県津市大谷町148番1 |
| 連絡先 | TEL 052-582-7735（入学相談室） FAX 052-582-7736 |
| 学校の沿革 | 平成26年 大原法律公務員専門学校津校 開校 |
| 在籍学生数 | 95名（男子80名、女子15名） |
| 教員数 | 7名（うち専任7名・兼任0名） |

2. 各学科の教育

| | |
|----------------------|---|
| 文化教養専門課程 公務員科 (2・1年) | |
| 教育目標 | 公務員試験に合格する教育とさらに就職後、職場で使える人材の育成を目標とします。 |
| 募集定員 | 2学科あわせて90名 (平成30年度入学者58名) |
| 進級の要件 | 出欠席の状況及び資格試験、定期試験の成績により4段階(優、良、可、不可)で評価し決定します。 |
| 卒業の要件 | 所定の課程を修了し、試験等に合格した者について、平素の成績及び性行を斟酌し決定します。 |
| 就職状況 | 卒業者数75名：就職者数62名(関連分野42名、関連外分野20名) |
| 卒業後の進路 | 三重県警察官、三重県庁、岐阜県庁、津市役所、鈴鹿市役所、鈴鹿市消防官、四日市市消防官、松阪地区広域消防組合、松阪市役所、伊勢市役所、熊野市消防官、津島市役所、蟹江町消防官、紀北消防組合、皇宮護衛官、海上保安庁、国家一般職、国家税務職、自衛官、国立大学法人三重大学、日本郵政、山九など |

授業科目等の概要

| (文化教養専門課程公務員学科) 平成29年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|------|------|-------|---|-------------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| ○ | | | 憲法 | 憲法基礎の学習を踏まえ、重要判例の解釈、争点等、具体的な思考力を鍛えることを狙いとする | 1 2 通 | 72 | | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | 刑法 | 刑法の基礎理解を目的とする。罪刑法定主義や、犯罪と刑罰の種類について条文、判例により学習する | 2 通 | 36 | | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | 行政法Ⅰ | 市町村が実施する行政活動と、損失補償や国家賠償の基礎理解を目的とする。公共事業に伴う土地収用の補償や警察官の違法行為に対する賠償について理解を深める。 | 2 通 | 18 | | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | 行政法Ⅱ | 内閣法や国家行政組織法と、地方自治法の基礎理解を目的とする。国の行政組織・市町村の組織及び作用を条文により学習する | 2 通 | 18 | | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | 法学概論 | 具体的な事例を通して、法律や判例がどう対応しているかを学ぶ。権利と義務の関係、法に関する基本的な見方や考え方を身に付ける | 2 通 | 18 | | ○ | △ | | ○ | | △ | | ○ |
| | ○ | | 会計学 | ビジネスの基本である簿記について、一般的な記帳技術を学び、問題演習を行う | 1 2 通 | 375 | | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | 管理会計論 | 製造業の記帳技術、原価計算、管理会計の基本項目を学び、問題演習を行う | 1 通 | 345 | | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | 医療事務論 | 医療事務従事者として必要な医療保障制度及び患者接遇、基礎医学、レセプト作成に関する知識を総合的に学習する。 | 1 通 | 324 | | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | 経済学 | ミクロ経済学・マクロ経済学を学ぶことを通して、市場論、市場の失敗、財政政策、金融政策を学習し、財政の視点も合わせて学習する | 2 通 | 12 | | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | 政治学 | 公的な組織の在り方や政治制度論について学習する | 2 通 | 12 | | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | 行政学 | 行政学の基礎理解を目的とする。福祉国家観、行政改革、政策過程について学習する | 2 通 | 12 | | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |
| ○ | ○ | | 人文科学 | 日本史、世界史、地理、思想などについて幅広い教養を培い、社会問題を分析する視点を整える | 1 2 通 | 396 | | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |

3. 教職員

教職員数

| 区分 | 男 | 女 | 計 |
|------|---|---|---|
| 校長 | 1 | | 1 |
| 教員 | 5 | 1 | 6 |
| 教職員計 | 6 | 1 | 7 |

教職員名簿

| 区分 | 担任 | 氏名等 | 担当教科 |
|----|------|------|-----------------------|
| 校長 | | 鶴見達洋 | 行政法Ⅰ、行政法Ⅱ、行政学、憲法、社会科学 |
| 教員 | 公務員科 | 男性職員 | 文書理解、人文科学、国語、倫理、会计学 |
| 教員 | 公務員科 | 男性職員 | 社会科学、数的処理、経済学 |
| 教員 | 公務員科 | 男性職員 | 判断推理、PC実習、自然科学、政治学 |
| 教員 | 公務員科 | 男性職員 | 判断推理、一般常識、ビジネス実習、一般知能 |
| 教員 | 公務員科 | 男性職員 | 数的処理、社会科学 |
| 教員 | 公務員科 | 女性職員 | 人文科学、PC実習、会计学、ビジネス実習 |

4. キャリア教育・実践的職業教育

| | |
|--------|--|
| キャリア教育 | <ul style="list-style-type: none">・2年次2学期以降、入社前就職教育システムにより入社後を想定した実戦形式の学習を実施します。・ボランティア活動を積極的に奨励・支援しており、地域のボランティアセンターとも連携を行い学生ボランティアとして実際に活動しています。 |
| 就職支援等 | <ul style="list-style-type: none">・業界研究の場として、官公庁職員による校内説明会や自衛隊見学会などを開催。・履歴書作成・自己PR・志望動機の確認から、2次試験対策としての面接練習まで実技を交えて、講義及び実践形式で実施します。・担任と就職専任職員との連携による、学生の希望と個性を重視したカウンセリングを実施します。・就職専任職員による就職活動相談は随時受付が可能です。 |

5. 様々な教育活動・教育環境

| | |
|---------|--|
| 学 校 行 事 | <ul style="list-style-type: none"> ・国内研修（菅平研修所・富士宮研修所）、バス研修旅行、クラスレクリエーション など ・スポーツフェスティバル（学園全体での運動会）、合格祝賀パーティ など |
| 課 外 活 動 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動（三重県警若樫サポーター、お伊勢さん菓子博、伊勢神宮奉納全国花火大会） ・大原カーボンオフセットプログラム（資格試験合格者などに種や苗木を配布し、自治体の植樹活動に協力する活動）や周辺の地域活動への積極的な参加 など |

6. 学生の生活支援

| | |
|---------|---|
| 生 活 支 援 | <ul style="list-style-type: none"> ・欠席換算日数に応じて、担任・教務責任者・校長による面談（必要に応じて保護者を含む）を実施します。 ・学生と担任との面談は随時実施します。 |
| 資 格 取 得 | <ul style="list-style-type: none"> ・専攻する学科の資格試験以外の他資格へ挑戦する学生に対し、附帯教育の無料聴講制度や割引受講制度を準備しています。 ・自動車運転免許の取得支援（安価でカリキュラムに支障のない免許合宿の斡旋）を行っています。 |

7. 学生納付金・就学支援

| | | | |
|---|---|-----------|---------------------------|
| 学生納付金 | 入 学 金 | 200,000 円 | 入学手続き時に納入していただきます。 |
| | 研修・教材費 | 80,000 円 | |
| | 授業料(年間) | 720,000 円 | 6種類の納入パターンから自由選択していただきます。 |
| | 維持費(年間) | 180,000 円 | |
| <p>※6種類の納入パターンは次のとおりです。</p> <p>①年間一括(3月納入)、②半期一括(3月、7月納入)</p> <p>③完納毎月均等(毎月15日引落)、④完納ボーナス併用(毎月15日引落)</p> <p>⑤延長毎月均等(毎月15日引落)、⑥延長ボーナス併用(毎月15日引落)</p> | | | |
| 就学支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本学生支援機構の奨学金制度が利用できます。 ・特別奨学生制度(資格経歴認定特別奨学生、兄弟姉妹等特別奨学生)により学費の一部が免除されます。 ・学園提携ローンをご紹介します。 ・一定要件を満たす者には、学生支援制度(一人暮らし支援)により一定金額の支援を行います。 | | |